

出 志 出 学 舎



南九州市立霜出小学校

「運動会一人ひとりが主人公」 「敬老日父の言の葉懐かしむ」 雅実 親子関係と非認知的な心の発達（その2）

校長 石川 雅実

先月号に引き続き、「親子関係と非認知的な心の発達」について、東京大学大学院教授遠藤利彦先生の理論の一部を紹介させていただきます。お役に立てば、幸いです。

1 アタッチメントと基本的な信頼感

- 「非認知」的な心の力＝自己と社会性の力は、どのように育まれるのか
 - ・ とりわけ重要な親子関係におけるアタッチメントの重要性
 - ・ アタッチメントとは、アタッチする(くっつく)ということに他ならない。
 - ・ 子どもが怖くて不安な時に、親をはじめとする信頼できる大人にしっかりとくっつくことで、もう大丈夫だという安心感を回復することができる。
 - ・ 信頼の感覚を獲得することが可能になる。
 - ・ 「愛の理論」(「愛するってこういうこと、愛されるってこういうことなんだ」という素朴な感覚)を自分の心の中に形成することに至る。
 - ・ 虐待児の中には、他者が示す様々な表情の中でも怒りの表情だけには、敏感であったり、また特定の表情が浮かんでいないはずの真顔を怒りの表情と誤って知覚してしまったりする子どもが多い。

たとえ、自身に対して温かいケアを施してくれるような他者が眼前にいたとしても、こうした子どもは、その他者から不適切にも自身に対する無関心や悪意を読み取ってしまいがちである。

2 当たり前のことをごく自然に

- 子どもたちのアタッチメントの要求に、自然に、何気なく応じる
 - ・ アタッチメントの欲求およびそのシグナルがひどく無視されてしまうような状況下にあると、子どもの心身の発達、自己と社会性に著しい歪みや遅れが生じてしまう。
 - ・ 親などの大人が、ごく自然に何気なく応じてしまう中で、人の生涯に亘る心身の健康や幸福の鍵となるもの、すなわち「非認知」的な心の力が豊かに立ち上がってくるのだということを、私たちはもっと自覚してもよいのかもしれない。

＜校長室から～「あなた」へのつぶやき～＞ 「幸せ、不幸せ」

難病を患っている方からこんな言葉をかけていただきました。「幸せ、不幸せは、自分が決めるもの。」とても感動しました。精一杯生きる姿に感動しました。困難につまずき、精一杯生きることを忘れかけていた私…。とても反省しました。そして、勇気を与えていただきました。

あなたも、精一杯生きてくださいね。「幸せ、不幸せは、自分が決めるもの。」だから…。

＜名言・格言に学ぶ＞

いい報いを受けるために善をするなら、それは善ではなくなってしまう。

谷崎 潤一郎

始業式 9月1日(金)

9月1日(金)の始業式は、熱中症対策のため、オンラインにて行いました

2年生、4年生、6年生の3人が「夏休みの思い出と2学期の目標」について発表してくれました。3人とも立派な発表でした。

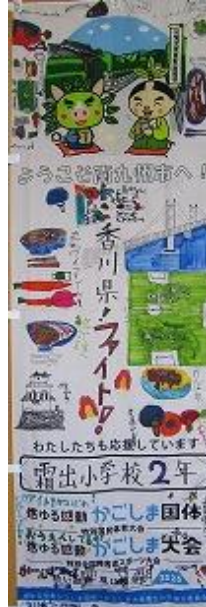
県の図画作品展で「市長会会長賞」を受賞した5年生の表彰式を行いました。

2学期も元気に明るくがんばってほしいと思います。



燃ゆるかごしま国体 応援のぼい完成！！

すばらしいのぼりができました。国体に来る方たちの励みになることだと思います。



【10月の予定】

- 2日(月) 学校楽しい一と実施期間 (~6日)
- 3日(火) 身体計測・視力検査(1・2年) 移動図書館
- 4日(水) 身体計測・視力検査(3・4年)
- 5日(木) 身体計測・視力検査(5・6年)
- 10日(火) 国体ソフトボール観戦(5・6年)
- 14日(土) 土曜授業
- 18日(水) 市陸上記録会(5・6年)
- 19日(木) 市陸上記録会予備日
- 21日(土) 青少年育成の日
- 22日(日) 家庭の日
- 24日(火) 芸術鑑賞会

9月24日~30日は、結核予防週間

今年度のキャッチフレーズは、『いまも1日平均 28 人が結核と診断されています。』です。

「公益財団法人結核予防会」

<https://www.jatahq.org/>によると、

- ・ 2週間以上、咳が続くときは診察や検査を受けましょう。
- ・ 結核に感染しても、すぐに発症するわけではありません。
- ・ 発病しても、医師の指示通り毎日薬を飲めば治ります。

とありました。

気になる方は早めに病院を受診しましょう。